

ネット社会・情報社会を生きる子供たちを
育てるために
学校と家庭・地域、教育委員会が手を携えて

SNS家庭ルール 作成のお願い



令和元年5月7日
東京都立杉並総合高等学校
東京都教育委員会

SNS東京ルール

- 子供たちが、いじめ等のトラブルや犯罪に巻き込まれないようにするとともに、学習への悪影響を防ぐため、SNSを利用する際のルールを策定（平成27年11月）

これまでの「SNS東京ルール」

- ① 一日の利用時間と終了時刻を決めて使おう。
- ② 自宅でスマホを使わない日をつくろう。
- ③ 必ずフィルタリングを付けて利用しよう。
- ④ 自分や他者の個人情報を書けないようにしよう。
- ⑤ 送信前には、相手の気持ちを考えて読み返そう

■ これまでの成果

- ・ 家庭ルール策定状況が増加
- ・ 嫌な思いが減少

インターネットやSNSを取り巻く状況

(1) 一日のインターネットの利用時間 (都教育委員会調査*)



■ 2時間程度までの回答が減少するなど、長時間化傾向が見られます。



インターネットや SNSを取り巻く状況

(2) アプリの使用状況

(保護者にはお子さんが何を使っているかを質問)

	YouTube		LINE		Twitter		Instagram	
	児童・生徒	保護者	児童・生徒	保護者	児童・生徒	保護者	児童・生徒	保護者
小学校	81.4	87.4	37.0	28.1	6.0	1.3	7.7	2.0
中学校	90.5	88.8	80.7	80.4	32.5	20.1	27.1	19.1
高等学校	91.6	88.6	97.5	97.5	72.4	59.7	61.2	49.9
特別支援 学校	92.1	91.4	59.9	53.4	22.6	12.8	13.2	6.8

平成 30 年度調査より

単位 %

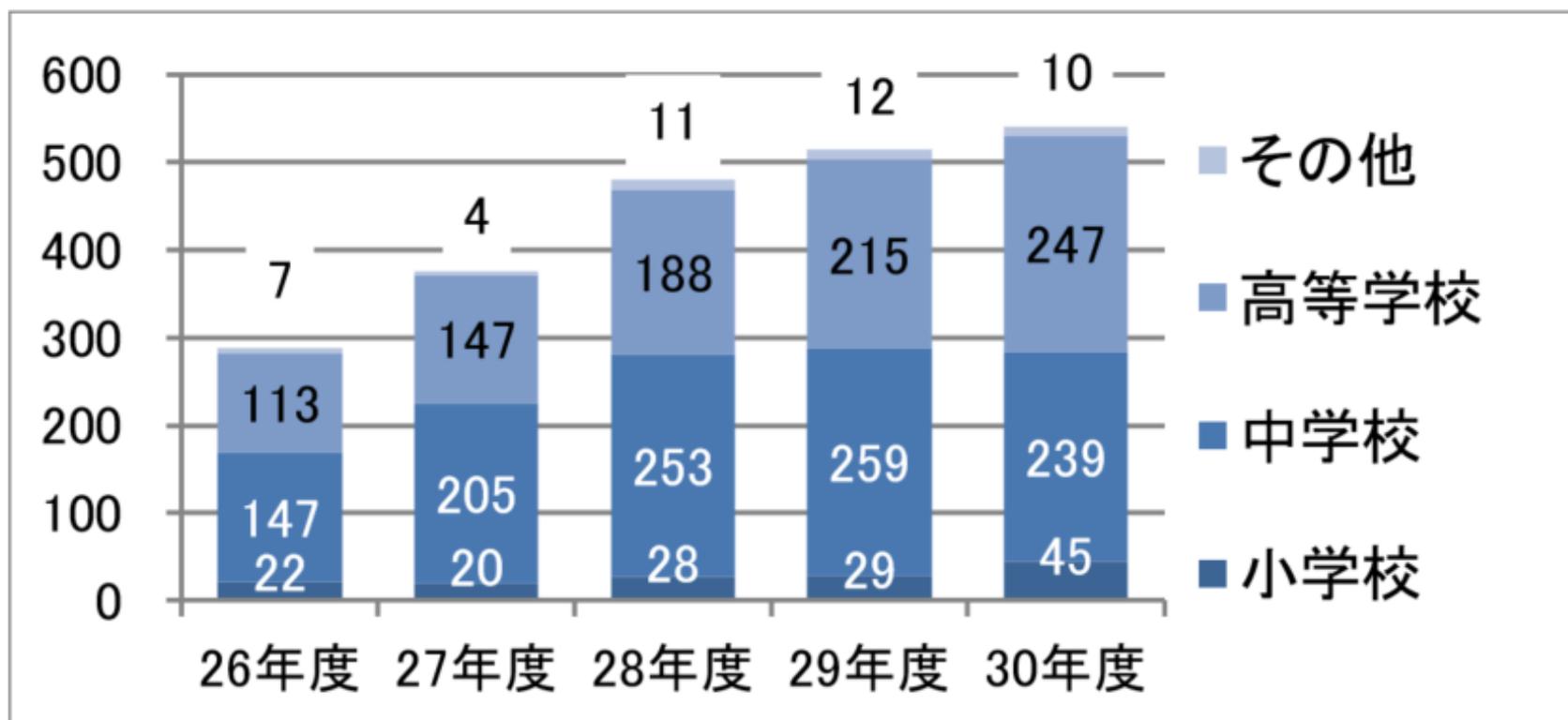
- 画像・動画を発信するアプリの利用が増えています。
- アプリの利用状況について、親子の回答に差異が見られます。



インターネットやSNSを取り巻く状況

(3) 自画撮り被害に遭った児童・生徒数の推移

(警察庁「平成30年における子供の性被害の状況」より)



■ 自画撮り被害に遭った児童・生徒は増えています。



SNS東京ルールの改訂

■ 新ルールとその趣旨について

① スマホやゲームの一日の合計利用時間、使わない時間帯・場所を決めよう。

ネットへの依存につながる長時間の利用を自分で防ぐようにしましょう。

② 必ずフィルタリングを付け、パスワードを設定しよう。

ネット利用のための基本的なルールを徹底しましょう。

③ 送信前には、誰が見るか、見た人がどのような気持ちになるか考えて読み返そう。

ネットを通して、他の人をいじめたり傷付けたりしないようにしましょう。

④ 個人情報を教えたり、知らない人と会ったり、自画撮り画像を送ったりしない。

ネット犯罪に巻き込まれないよう、安易な発信をしないようにしましょう。

⑤ 写真・動画を許可なく撮影・掲載したり、拡散させたりしない。

ネットに公開した情報は削除できないという危険性を理解しましょう。

SNS家庭ルール作成のお願い

- 家庭におけるスマホの使い方を、親子で話し合って決めましょう。
- 定期的にルールを見直すなど、年齢に応じた使い方を考えましょう。

使いすぎを考える

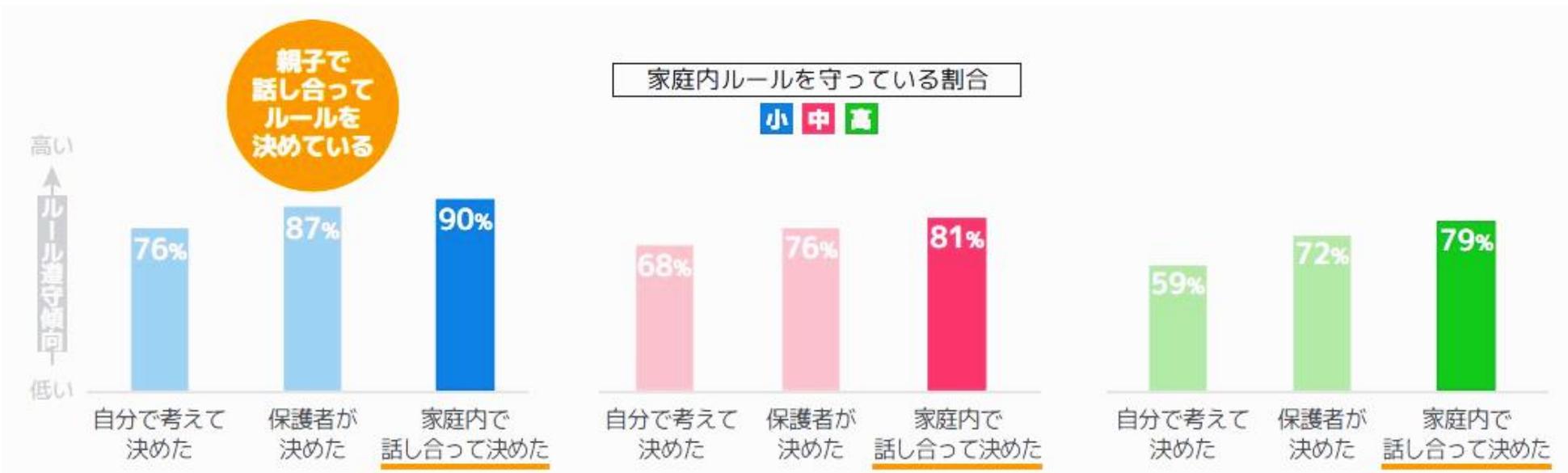
- 利用時間の限度
- 利用しない部屋
- 料金（課金）の限度
- 利用しない日

知らない人とのやり取りを考える

- メール等の相手を決める
- 個人情報を公開しない
- 有害サイトを利用しない

ルールを守れなかったときにどうするか決める

話し合いをすることで、 ルールを守る傾向が見られます。



平成30年度「青少年のネット利用実態調査」
(東京都教育委員会との共同研究に基づく) LINE株式会社

■ お子さんとスマホ・ネットのより
良い使い方について話し合ってみませんか。

